

## 平成28年度事業報告書

### 全 般

平成28年度は、諸事業を概ね計画どおり実施することができた。

総観覧者数については、昨年度に引き続き25万名を超え、253,375名で近年最高の昨年度実績を19名上回った。

売店売上額についても、62,867,801円となり、昨年度を上回り過去最高額を更新した。

展観態勢については、展示のIT化による充実を図るとともに特別展「三笠秘蔵 連合艦隊艦隊コレクション」を継続開催し、観覧層の拡大に努めた。

### 1 艦の修理整備

上甲板の腐食鋼材、腐食木甲板の新替え及び船体塗装等の修理整備及び観覧者の安全対策を実施した。

#### (1) 官（海上自衛隊）による修理工事

##### （電気の部）

- ア 中甲板展示室等の照明器具（14か所）をLEDに新替え
- イ 高圧受電設備定期点検・整備
- ウ 士官室前故障艦内監視装置カメラ1台の換装
- エ 2番砲室故障灯具（2灯用）2基の換装

##### （船体の部）

- ア スタンウォーク木製部の下地処理、擬宝珠の液体ガラス塗装
- イ 上甲板右舷後部、ウォーターウェイ補修（下地処理、液体ガラス塗装）  
木甲板等の新替え（約5分の1、下地処理、液体ガラス塗装）及び排水口枠の新替え
- ウ 後部主砲周囲天幕支柱新替え（4本）
- エ 後部主砲周囲木製架台を鋼製架台に換装
- オ 女子トイレの改修（和式1基を洋式に換装、洋式2基の向きを変更、  
ウォシュレット4基新設）
- カ 前後部の艦橋及びウイングの甲板塗装の補修

#### (2) 保存会による整備

- ア 入口、出口、講堂出入口の門柱門扉の塗装（業者委託）
- イ 主機説明室へのエアコンの設置（業者委託）
- ウ 士官室隣接の前区画（デジタル展示装置サーバー室）の塗装及びエアコンの設置（業者委託）
- エ 長官公室エアコンの室外機から室内機までの露天電路、冷媒管路及び室内機内基盤の換装（絶縁不良復旧工事、業者委託）

- オ 9 番砲室 (団体用ビデオ室に模様替え) へのエアコン 2 基の設置 (業者委託)
  - カ 上甲板と中甲板の間の階段 (6 か所) 上部の覆い支柱にエアカーテンを新設 (冷暖房効果維持対策、業者委託)
  - キ 男子トイレにウォシュレット 2 基新設 (業者委託)
  - ク 男女トイレにエアージェットタオル各 1 基新設 (業者委託)
  - ケ 4 番砲室 (ハンモック展示) 室内塗装整備及び一部模様替え (業者委託)
  - コ 中甲板通路の清掃、ワックス掛け (5 月、11 月に実施)
  - サ 電力デマンド監視装置を換装 (業者委託)
  - シ デジタル展示用として光回線 1 回線を増設 (業者委託)
  - ス 木甲板腐食箇所の部分補修 (職員による)
- (3) 海上自衛隊隊員等による奉仕整備
- ア 第 2 術科学校海士各課程学生による艦内外の清掃及び真鍮磨きの奉仕作業を計 12 回 (延べ 141 名)
  - イ 横須賀地区上級海曹会会員、隊員有志及び米海軍とその家族による上甲板全面洗浄奉仕作業
    - (ア) 5. 21 (土) 約 160 名
    - (イ) 10. 29 (土) 約 170 名
  - ウ その他
    - 4. 29 (金) はたかぜ後援会による奉仕 (草取) 作業 (9 名)

## 2 展観態勢

### (1) 資料の寄贈等

工作：旅順港閉塞船材で作成した「硯箱」  
トランペット (昭和海軍軍楽隊隊員)

### (2) 収蔵資料の現況

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	28 年度 受 入	合 計
勲 章	55	0	12	0	67
武 器	64	0	3	0	67
絵 画	82	5	8	0	95
印 刷	159	11	2	0	172
書	185	52	40	0	277
被 服	86	0	9	0	95
写 真	307	195	9	0	511
証 紙	112	0	5	0	117
旗 布	14	0	3	0	17
工 作	123	21	12	2	158
陶 器	19	0	4	0	23
彫 刻	21	0	1	0	22
模 型	21	9	37	0	67

計器	18	0	3	0	21
録音	28	0	0	0	28
図書	79	0	2	0	81
展示物品	0	8	0	0	8
小計	1,373	301	150	2	1,826
参考図書	2,813	0	0	7	2,820
合計	4,186	301	150	9	4,646

(3) 資料の貸出

ア 6.23(木)から1.28(土)までの間、カメラほか附属品3点(関大監の遺品)を大和ミュージアムの企画展へ貸し出した。

イ 10.2(水)から産経新聞社等の主催する「司馬遼太郎没後20年記念展」のために資料2点(「三笠艦橋の図(馬堀浩昭模写)」、「連合艦隊解散の辞」)を約1年間の予定で貸し出した。

(4) 展示のIT化事業

昨年度から、来艦者が史実を理解し易くするとともに、インターネットによる資料の閲覧も可能となるよう艦内展示を時代に相応しい姿に更新する事業を開始した。その事業のうち28年度分は以下の3件である。

- ・記念艦「三笠」の展示のシステム基盤の構築
- ・戦艦「三笠」の艦内説明のIT化
- ・バルティック艦隊の東航の図のIT化

3.27(月)株式会社横須賀テレコムリサーチパークから装置の引渡しを受けた。

(5) VR日本海海戦

HMD(ヘッドマウントディスプレイ)を装備することで日本海海戦当初の戦闘をバーチャルリアリティ空間上に復元して、体感することができる展示を導入するため1.12(木)に株式会社神田技研と請負契約を締結し、4月末に完成予定である。

(6) 日本海海戦操艦シミュレーター

日本海海戦当初の連合艦隊の運動を模擬できる操艦シミュレーターを導入するため、2.24(金)に株式会社キャドセンターと請負契約を締結し、5月中旬に完成予定である。

(7) 構造物延命化に関する研究

東京海洋大学との共同研究の契約(28.3.8)に基づき研究を行った。艦体金属の腐食を防ぎ延命化を図るために「艦体と周囲の電位差を打ち消すために電流を流すこと」が一方策として導かれた。

(8) その他

- ア 日露戦争当時の艦船模型83隻のうち、3隻(累計:11隻)が納入された。
- イ 絵画(三笠艦橋の図ほか7点)を専門業者による修復を実施した。
- ウ 艦首飾り(三笠及び和泉の分)を専門業者による修復を実施した。
- エ マントレット1式、展示用ハンモック3式を換装した。
- オ 艦尾の銘板「みかさ」及び戦艦大和砲弾とその銘板の(ガラス塗装)を実施

した。

### 3 特別展

三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション

日露戦争時の連合艦隊及びロシア艦隊（バルチック艦隊）並びに太平洋戦争時の連合艦隊及び海上自衛隊自衛艦隊の艦艇模型約260隻を展示中で、大好評のため30. 3. 31（水）まで期間を再延長することとした。

### 4 主催行事

#### (1) 日本海海戦111周年記念事業

記念式典を、5. 27（水）、記念艦三笠講堂において、村川海上幕僚副長、堂下横須賀地方総監、重岡自衛艦隊司令官、アーコイン米第7艦隊司令官、吉田横須賀市長はじめ内外多数のご来賓、及び三笠会員の出席をいただき、厳粛かつ盛大に挙行了した。

参加者は、式典に引き続き行われた、横須賀音楽隊による「艦上演奏会」を楽しまれ、「艦上祝宴」も盛況であった。

また、式典開始前には、例年どおり裏千家淡交会横須賀支部による呈茶も行われ多くの方が楽しまれた。

式典参加の来賓及び三笠会員の内訳は次のとおり。

区 分	出席者数	区 分	出席者数
議員等	10	友好団体	25
自衛隊部隊指揮官等	22	個人支援者	10
外国武官、米海軍指揮官等	6	三笠保存会役員、評議員	28
ご係累	26	三笠保存会会員	312
県、市職員等	11	合 計	450

#### (2) 三笠こどもミュージアム（第5回）

7. 16（土）から8. 28（日）までの間、次のイベント等を実施した。

- ア 「三笠こどもノート」の配布
- イ みかさ工作ルームの設置
- ウ こどもスタンプラリー（主に土日祝日）
- エ 軍服着用記念撮影（主に土日祝日）
- オ ハンモック体験（土日祝日のみ）
- カ 掲揚軍艦旗プレゼント申込み受付

#### (3) 船の模型コンクール（第53回）

横須賀市内の小学校29校から590点の出品があり、9. 6（火）横須賀市教育委員会の杉戸美和指導主事による審査を行い、金賞から努力賞まで64名の作品を選考、9. 10（土）午前講堂において表彰式を行った。全作品を9. 10（土）から10. 11（火）まで下甲板において展示、金賞作品6点は次回開催まで中甲板右舷通路に展示する。

#### (4) 子供たちのプラモデル教室（第10回）

10. 1（土）子供22名と保護者22名の参加を得て、株式会社ハセガワ及



び有限会社フォーサイトの協力のもと第2ビデオ室で開催した。

(5) お正月イベント (第5回)

正月三が日は「お正月は三笠でパワーをもらおう！」をスローガンに次のイベントを開催し、2,891名の家族連れが訪れた。

ア パワースポット巡り

イ 日本海海戦で活躍した有名な海軍軍人のスタンプラリー

ウ 甘酒サービス

エ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付

(6) 書初め大会 (第24回)

1. 4 (水) 横須賀市内の小学校6校から37名の子供たちの参加を得て、下甲板において開催した。同日、横須賀市教育委員会の伊藤睦美指導主事による審査を行い、金賞から努力賞までの作品を選考し、15時から表彰式を行った。作品は1. 6 (金) から1. 16 (月) の間、艦内 (第2ビデオ室) で展示した。

(7) 新春凧あげ教室 (第9回)

1. 7 (土) 17名の参加者を得て、「三浦の浜で凧をあげる会」の指導協力のもと、三笠下甲板と三笠公園において開催した。午前中は自分たちで書いたオリジナルの絵を持ち込んで和凧作りを行い、午後からは三笠公園内の芝生広場で「凧あげ」に挑戦した。

(8) こどもラジオ教室 (第5回)

3. 20 (月) 小中学生等参加者19名の参加を得て、講師として三笠保存会評議員太田氏、工作指導としてYRPアマチュア無線クラブ等10名の協力のもと下甲板ホールにおいてこどもラジオ教室を開催し、ゲルマニウムラジオの製作に取り組んだ。

5 協賛行事等

(1) アニメ「ハイスクール・フリート」先行試写会

4. 2 (土) アニメ「ハイスクール・フリート」先行試写会に協賛し、試写会場所として講堂を提供した。(上映観覧者：約500名)

(2) よこすかカレーフェスティバル

5. 14 (土) 及び15 (日)、三笠公園で開催された「2016よこすかカレーフェスティバル」に協賛し、観覧料 (大人、シニア、高校生) を一律300円 (中学生以下は無料) とした。(来艦者：5,421名：昨年比87.2%)

(3) 第56回三笠艦記念関東柔道大会、第33回関東女子柔道大会

5. 22 (日) 横須賀総合体育館で開催された本大会を協賛した。

(4) 山口采希 (あやき) コンサート

5. 29 (日) 15:00~17:00の間、「日本海海戦111周年記念コンサート 山口采希のうたひろば・記念艦三笠」の会場として三笠講堂を提供し、約100名が参加した。

(5) よこすかYYのりものフェスタ

6. 11 (土) 及び12 (日)、三笠公園で開催された「よこすかYYのりものフェスタ」に協賛し、観覧料 (大人、シニア、高校生) を一律300円 (中学生以下は無料) とした。(来艦者：4,557名：昨年比97.5%)

- (6) 三笠・猿島探検隊  
6. 18 (土) 近代歴史遺産活用推進協議会企画ツアー「親子で行く 三笠、猿島探検隊」に協賛し、三笠の説明、DVD「語り継ぐ想い」の上映、艦内案内を行った。(参加者：87名)
- (7) よこすか灯籠流し  
7. 16 (土)「よこすか灯籠流し」に協賛し、上甲板を見送り場所として提供した。(乗艦者：約861名)
- (8) ドル街横須賀  
8. 1 (月) から12. 27 (火) までの間、横須賀市主催の「ドル街横須賀」に協賛し、「観覧券を米ドルで購入できる態勢」とした。(購入者74名)
- (9) よこすか開国花火大会  
8. 6 (土)「よこすか開国花火大会」に協賛し、上甲板を主催者及び三笠保存会招待者に無料開放した。(来艦者：約700名)
- (10) 「リアルワールドゲームを楽しもう」講演会  
8. 21 (日)「リアルワールドゲームを楽しもう」に協賛し、講演会会場として講堂を提供した。(来観者：50名)
- (11) 横須賀サブカルチャーフェスティバル (ヨコカル祭)  
10. 22 (土) 三笠公園等で行われた「横須賀サブカルチャーフェスティバル (ヨコカル祭)」に協賛し、フェスティバル参加のコスプレイヤーに撮影場所として前甲板等を提供した。また、アニメ「ハイスクール・フリート」のトークショー (公開録音) に講堂を提供した。
- (12) VR戦艦大和 竣工記念式典  
10. 29 (土) から11. 13 (日) までの間、「VR戦艦大和 竣工記念式典」に協賛し、展示会場として下甲板を提供した。
- (13) よこすか産業まつり  
11. 5 (土) 及び6 (日)「よこすか産業まつり」に協賛し、観覧料 (大人、シニア、高校生) を一律300円 (中学生以下は無料) とした。(来艦者：2,900名)
- (14) 国旗のある自由画入選作品展  
11. 8 (火) から11. 29 (火) までの間、第2ビデオ室において入選作品21点を展示した。
- (15) 福本伸行 横須賀ざわざわ展 (カイジ×アカギ×黒沢の世界)  
11. 19 (土) から12. 25 (日) までの間、横須賀出身の漫画家福本伸行氏の原画展に協賛し、展示会場として下甲板を提供した。また、11. 19 (土) 福本伸行先生トークショーに会場として講堂を提供した。
- (16) 横須賀市民割り  
2. 1 (水) から2. 28 (火) まで「横須賀市民割り」に協賛し、横須賀市民の観覧料 (大人、シニア、高校生) を一律300円とした。(市民割来艦者：275名)
- (17) 企画展「日本を護る艦たちー海上自衛隊の艦艇ー志磨 隆氏作品展」  
2. 25 (火) から4. 2 (月) までの間、会場として5番砲室、7番砲室を提供した。

(18) 近代周遊ツアー

3. 2 (土) 横須賀市文化振興課が主催する「日本海軍遺産めぐりー三笠・2術校・米海軍基地」に協賛し、三笠の説明、DVD「語り継ぐ想い」の上映、艦内案内を行った。(参加者：38名)

(19) 海洋教育フォーラム

3. 1 1 (土) (公社)日本船舶海洋工学会、海洋教育推進委員会主催の海洋教育フォーラム「私たちの海ー空から見た海」に協賛し、会場として三笠講堂を提供した。(参加者：170名)

(20) 日米親善よこすかスプリングフェスタ

3. 2 6 (日) 米海軍横須賀基地を一部開放して行われた「日米親善よこすかスプリングフェスタ」に協賛し、観覧料(大人)600円を500円とした。(来艦者：1,917名)

## 6 広 報

(1) 広報資料の配布

旅行シーズンに合わせて3月に関東、東海、中部及び北陸1都14県の旅行会社8,300社に、挨拶状を添え記念艦三笠、軍港めぐり、猿島及びポートマーカーのパンフレットを送付した。

(2) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー

土日及び祝日に三笠観覧者の希望者に艦内ガイドツアーを381回(5回/日、延べ13,354名)実施した。

(3) HPの更新

近年の情報通信環境に対応するため、スマートフォンに最適化させるとともに、SNSを活用した情報発信力を強化し、多言語化を図った。

(4) メールマガジンの配信

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを4回配信した。

(5) 会報「みかさ」の発行

「みかさ」第29号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(6) 三浦半島の魅力展示会への参加

3. 1 1 (土) 横浜そごう入口前通路で行われた、神奈川県都市公園課の企画の「三浦半島の魅力展示会」に職員を派出しPR活動を行った。

(7) 広報記事の新聞等への掲載

読売、毎日、産経、神奈川、西日本、夕刊フジ、タウンニュース、ぱどに記念艦「三笠」と特別展等のPR記事を掲載した。

(8) 観光事業者等との交流

1 2. 1 (木) 横須賀市観光協会主催の商談会に職員を参加させ、参加旅行者へPR活動を実施した。

(9) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への協力



協 力 先	協 力 内 容
NHK宮崎	番組の撮影
BS日テレ	「イキイキ元気TV」の撮影
日本テレビ	「笑ってこらえて」の撮影
台湾電子台	番組の撮影
タイテレビ局	番組の撮影
テレビ朝日	「チーム8あんだロケ」の撮影
FMよこすか	生放送事務局長出演、対談
テレビ東京	「歴史の道 歩き旅」の撮影 舞の海秀平氏来艦
NHK	スカジャン割の取材
静岡第一テレビ	「まるごと知っとく」の撮影
テレビ山梨	「ウッティタウン6丁目」の撮影
BSジャパン	「ミステリアスジャパン」の撮影

イ 雑誌等への協力

協 力 先	協 力 内 容
週刊新潮	記事取材
横浜マリノスファンクラブ	広報誌写真撮影
YAHOOライフマガジン	「三浦半島ドライブ」の取材
毎日新聞	「旅する みつける」の取材
神奈川新聞	「書初め大会」、「日本を護る艦たち」の取材

(10) 実習等への協力

ア 職場体験実習受入れ

次の横須賀市立中学校の職場体験実習に協力し、金物磨き及び観覧者対応を体験させた。

28. 11. 8 (火)～11. 10 (木)：常葉中学校2年生3名  
大津中学校2年生2名

29. 1. 26 (水)～ 1. 28 (金)：野比中学校2年生3名

イ 横須賀海洋少年団への協力

横須賀海洋少年団の訓練に計6回協力した。

ウ 博物館実習受入れ

8. 22 (月)～8. 28 (日)、大学生2名（東京農業大学1名、東京女子大学1名）の研修を受入れ、協力した。

(11) その他

「三笠」語り継ぐ想い（常廣栄一遺稿集）を発行し、会員及び防衛大学校、海上自衛隊の各部隊に配布した。

7 観覧者

無料観覧者を含めた総観覧者数は昨年度に続き25万人を超えた。また、それぞれの節目の10万人（8. 14）、20万人（12. 24）及び25万人（3. 29）認定セレモニーを開催した。



## (1) 有料観覧者数

月別	平成28年度	前年度比 (%)	平成27年度
	有料観覧人員		観覧人員
4	18,505	118.8	15,575
5	30,644	98.0	31,262
6	21,370	104.5	20,445
7	16,600	111.7	14,858
8	21,310	104.3	20,433
9	17,662	84.5	20,888
10	23,274	88.1	26,402
11	22,702	92.6	24,507
12	11,362	116.2	9,782
1	13,329	102.8	12,968
2	13,410	96.0	13,968
3	19,715	96.3	20,462
有料計	229,883	99.7	230,606
無料計	23,492	103.3	22,750
総計	253,375	100.01	253,356

## (2) 観覧料収入

観覧料収入は118,764千円（前年度比99.8%）となった。

（参考）28年度：119,063千円 27年度：106,087千円

## (3) 団体観覧者

ア 団体観覧者数62,462名（前年度比：97.1%）

イ 団体観覧者数上位都府県 ※ ○内数字は昨年度の順位

順位	都府県	延人員（前年度比）	順位	都府県	延人員（前年度比）
1	東京①	21,142 (101.6%)	6	茨城⑨	2,531 (150.6%)
2	神奈川③	7,394 (138.8%)	7	長野⑥	2,259 (110.3%)
3	千葉②	6,292 (106.8%)	8	山梨⑧	1,848 (109.1%)
4	埼玉④	6,044 (132.1%)	9	群馬⑦	1,729 (86.6%)
5	静岡⑤	3,060 (80.5%)	10	栃木⑩	1,486 (99.9%)

## (4) 主要来艦者

4月	カナダ海軍参謀長ほか3名（長官公室で横須賀地方総監主催昼食会） 防衛監察本部長ほか6名 衆議院議員 井上英孝氏 日米協会専務理事ほか8名
----	---

5月	米国ブレマートン市長ほか5名 三笠宮彬子女王殿下、武居海上幕僚長及び堂下横須賀地方総監 野志克仁松山市長及び吉田雄人横須賀市長 トルコ海軍訓練教育司令官ほか4名 在日大使館外交官35名 千葉県議会議員本清秀雄議員以下県議会議員22名
6月	NATO軍事委員長 ペーター・バベル チェコ陸軍大將他7名 ドイツ連邦軍軍事史センター長 マック大佐 他3名 横浜Fマリノス 中村俊介選手他1名 防衛省大臣官房施設監 渡邊一浩 氏
7月	広瀬武夫顕彰会会長、副会長 滋賀県大津市議会議長ほか議員(16名) 日向市長、日向市議会議長及び商工会議所会頭など(5名)
8月	呉、横須賀、舞鶴市議会議長、議会事務局員(計9名) 山梨市長ほか市職員(計21名) チリ練習帆船エスメラルダ副長以下乗員、実習候補生(計37名)
9月	横須賀中央ライオンズクラブ(19名)
10月	青年塾会員(80名) 参議院議員 青山繁晴氏 台湾海軍情報部長 越谷市議会議員 服部正一氏ほか同後援会員(75名) 横須賀市観光協会会長 木村忠昭氏ほか(4名)
11月	衆議院議員宮川典子氏及び後援会会員(49名) 横須賀市長吉田雄人氏(VR大和体験) 参議院議員青山繁晴氏(東京大学ゼミ学生引率) 浩志会(各省庁、民間企業幹部候補者の会)(20名)
12月	関東財務局長 小野 尚氏及び財務局員8名 横須賀地方総監 堂下海将(離任挨拶) 参議院議員 青山繁晴氏ご夫妻(トランペット寄贈) 中華民国国防部軍政部副部長 李 喜明海軍大將 横須賀地方総監 道満海将(着任挨拶)
2月	米海兵隊総司令部計画戦略課長マホネイ海兵隊准将 東京都羽村市防衛協会御一行(52名) ヨルダン・ハシェミット王国軍統合参謀本部議長フレイハード陸軍中 将ほか3名 ウクライナ最高会議議長ハルビー閣下ほか5名
3月	参議院議員青山繁晴氏

(5) 防衛省職員の研修

自衛隊の10部隊等の隊員・職員(延べ1,089名)が研修のため来艦した。

## 8 会 員

### (1) 会員数

休眠会員（年会費3年以上未振込、郵便物送付不可等）を退会処理とした。

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		28年度	27年度	28年度	27年度
個人 会 員	通常会員	87	90	981	1,055
	終身会員	67	80	2425	2,473
	維持会員	11	8	169	162
	計	165	178	3,575	3,690
法 人 会 員	通常会員	3	3	63	61
	終身会員	0	1	23	23
	維持会員	0	0	16	16
	計	3	4	102	100
合 計		168	182	3,677	3,790

### (2) 月別会費収入

(単位:千円)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
28年度	783	268	460	266	383	129
27年度	720	257	232	383	561	416

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
231	400	250	448	244	754	4,413
300	291	236	304	268	308	4,276

### (3) 会員の増勢

ア 海自第2術科学校において上級管理講習者に対し、三笠保存会入会勧誘を2回実施した。

イ 会費未振込みの会員に対して継続をお願いするとともに、ゆうちょ銀行による年会費の自動払込利用により会員の自動継続に努めているが、28年度末で20名と利用者が伸び悩んでいる。

ウ 若者加入促進のため、会員加入申込み案内板を更新し、「会員募集」を「ミカサ・サポーター（会員）募集」に表現を変更した。

## 9 運 営

### (1) 会 議

名 称	年 月 日	場 所
第17回運営委員会	28. 6. 1	記念艦「三笠」
第10回理事会	28. 6. 6	
第10回評議員会	28. 6. 22	
臨時理事会	28. 6. 22	
第18回運営委員会	28. 9. 15	



第19回運営委員会	28. 11. 17	
第20回運営委員会	29. 1. 19	東郷記念館
第11回理事会	29. 3. 15	記念艦「三笠」
第11回評議員会	29. 3. 23	

(2) 理事等の改選

ア 6. 22 (水) で次の理事等が就(退)任した。

	退 任	就 任
会長 (代表理事)	増田 信行	佃 和夫
副会長 (理事)	岡部 文雄	福地 建夫
理 事	泉谷 博通	鈴木 隆裕
理 事		井上 力
監 事	高地 光雄	高橋 隆一
顧 問	福地 建夫	杉本 正彦

イ 3. 23 (木) で次の評議員が就(退)任した。

退 任	就 任
石川 泰志	
益山 賢太	中村 英明

(3) 規則の改正

ア 三笠保存会給与支給規則 (平成24年4月1日) 別表「基本給表」

28. 10. 1 (土) 改正で、神奈川県最低賃金が1時間930円となったことにより、三笠保存会給与支給規則 (平成24年4月1日) 別表「基本給表」の最低等級最低号俸額が神奈川県最低賃金を下回ることとなったため、最低等級最低号俸額を改正し、これを基準に「基本給表」を10. 1付で全面改正した。

イ 三笠保存会就業規則 (平成24年4月1日) 第11条 (就業時間)

現行の夏季始業時刻 (午前9時) 及び冬季始業時刻 (午前8時30分) とともに現状に合わないため、始業時刻を開艦 (開店) 時時刻の15分前の午前8時45分とし、終業時刻を閉艦時刻 (4月から9月までは17:30、10月から3月まで17:00) に改正した。

(3) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配 置	退 職	採 用
売店店長	稲葉 恵一	長尾 晴幸
広報課長	早乙女 貴志	塚田 眞司

イ 28年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用	パート	計
6 ※1	5	5 ※4	16 ※5

注: ※印は女子職員を示し、内数である。

(4) 関係官公庁、友好団体等行事への参加

ア 靖国神社及び東郷神社の春・秋例大祭等

- イ 海上自衛隊、関係官公署、友好団体等の行事
- (5) 職員の研修
- ア 12月中旬、職員による三笠説明発表会を開催し、相互啓発を図った。
- イ 3月初旬、三笠職員16名が三笠観覧態勢の充実を図るため、猿島周遊ガイドツアーを企画し研修した。
- (6) 監査
- 9.16(金)海上自衛隊横須賀地方総監との「記念艦三笠運営委託契約書」の第15条(監査)に基づき、横須賀地方総監部による監査を受けた。帳簿等の検査及び展示改修の現地調査が行われ、運営状況は良好と評価された。

## 10 売店部

### (1) 営業収入

28年度商品総売上高は62,867,801円で昨年度比117.2%の増となった。

売上増加策として、次の新商品を開発した。

- ア 三笠オリジナルUSB
- イ 日本海海戦111周年記念パワーストーン
- ウ 日本海海戦手拭
- エ Z旗柄ネクタイ
- オ Z旗柄スカーフ
- カ 2017世界三大記念艦「三笠」カレンダー
- キ ポロシャツ長袖
- ク 革製Z旗キーホルダー
- ケ キューピー三笠くん、キューピー東郷くん

### (2) 通信販売

三笠ホームページ・ショッピングサイトによる通信販売実績は、取扱件数194件(昨年比83.0%)、販売金額66万7千円(昨年比87.0%、売上金額の1.1%)であった。

### (3) アマゾン出店販売

アマゾンショッピングサイトへ出店販売(艦隊コレクション写真集及び三笠カレンダー)を10月から開始し、販売実績は、取扱件数46件、販売金額4万2千円であった。

### (4) クレジット決済販売

クレジット決済販売実績は、取扱件数1,151件、販売金額352万8千円(売上金額の5.6%)であった。